

「第3次滝川市環境基本計画・地域行動計画」新旧対照表

旧	新	備考
<p style="text-align: center;">- 目次 -</p>	<p style="text-align: center;">- 目次 -</p>	目次
(略)	(略)	
資料編 26	資料編 26	
資料1 成果指標における数値目標の考え方 26	資料1 成果指標における数値目標の考え方 26	
資料2 環境都市宣言 <u>29</u>	資料2 環境都市宣言 <u>30</u>	(変更)
資料3 滝川市環境基本条例 <u>29</u>	資料3 滝川市環境基本条例 <u>30</u>	(変更)
資料4 滝川市環境市民委員会規則 <u>33</u>	資料4 滝川市環境市民委員会規則 <u>34</u>	(変更)
資料5 滝川市環境市民委員会委員名簿 <u>34</u>	資料5 滝川市環境市民委員会委員名簿 <u>35</u>	(変更)
資料6 滝川市環境市民委員会開催経過 <u>35</u>	資料6 滝川市環境市民委員会開催経過 <u>36</u>	(変更)
資料7 滝川市民を対象とした環境に関するアンケート調査 <u>36</u>	資料7 滝川市民を対象とした環境に関するアンケート調査 <u>37</u>	(変更)
資料8 滝川市内事業者を対象とした環境に関するアンケート調査 <u>53</u>	資料8 滝川市内事業者を対象とした環境に関するアンケート調査 <u>54</u>	(変更)
	<p>※表紙写真 「環境学習リーダー」</p>	(追加)
	<p><u>北海道滝川高等学校の生徒による滝川中央保育所の児童との交流</u></p>	

旧	新	備考
<p data-bbox="224 220 884 252">第1章 計画策定の基本的な考え方 【計画の概要】</p> <p data-bbox="94 319 340 351">1 計画策定の趣旨</p> <p data-bbox="107 414 161 446">(略)</p> <p data-bbox="89 510 1034 1173">このような地理的条件を生かして、様々な都市機能を有する中空知の中核都市として発展してきました。しかし、経済的発展や都市化の進展により生活が便利になった反面、人々の営みが身近な環境を汚染すると同時に、広域的な生態系にまで影響を及ぼすようになったことや、大気汚染物質であるPM2.5の問題、異常気象によるゲリラ豪雨や大型台風、竜巻などの自然災害の増加などが起こりました。このような環境や社会情勢の変化に伴い、「滝川市環境基本条例」(以下「条例」という。)第10条に基づいて環境の保全及び創出に関する長期的な目標と施策の基本的な事項並びに各種体別の行動内容について定めた「第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画」(以下「第2次計画」という。)の策定を行い、計画策定から10年間において「豊かな環境を1人ひとりが守り育む「環のまち」たきかわ」の実現に向けて市民・事業者と市が共通の目的に向かって、3R(リデュース・リユース・リサイクル)や環境問題(地球温暖化※1・大気汚染)、省エネルギー、自然環境・農業の保全、環境教育の取組などを推進してきました。</p> <p data-bbox="89 1189 1034 1457">一方、我が国では平成27年に開催した国連気候変動枠組条約(UNFCCC)※2第21回締約国会議(COP21)※3にて合意された「パリ協定」の枠組みを受けて、日本の中期目標として2030年度の温室効果ガスの排出を2013年度の水準から26%削減することを目標として定め、その後、2020年に当時の内閣総理大臣が2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言いたしました。また、令和6年には環境基本法第15条</p>	<p data-bbox="1232 220 1825 252">第1章 計画策定の基本的な考え方 <u>(削除)</u></p> <p data-bbox="1064 319 1310 351">1 計画策定の趣旨</p> <p data-bbox="1077 414 1131 446">(略)</p> <p data-bbox="1059 510 2009 1173">このような地理的条件を生かして、様々な都市機能を有する中空知の中核都市として発展してきました。しかし、経済的発展や都市化の進展により生活が便利になった反面、人々の営みが身近な環境を汚染すると同時に、広域的な生態系にまで影響を及ぼすようになったことや、大気汚染物質であるPM2.5の問題、異常気象によるゲリラ豪雨や大型台風 <u>(削除)</u> などの自然災害の増加などが起こりました。このような環境や社会情勢の変化 <u>を踏まえ、</u>「滝川市環境基本条例」(以下「条例」という。)第10条 <u>の規定に基づき</u>環境の保全及び創出に関する長期的な目標と施策の基本的な事項並びに各 <u>主体</u>別の行動内容について定めた「第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画」(以下「第2次計画」という。)の策定を行い、計画策定から10年間において「豊かな環境を1人ひとりが守り育む「<u>環(わ)</u>のまち」たきかわ」の実現に向けて市民・事業者と市が共通の目的に向かって、3R(リデュース・リユース・リサイクル)や環境問題(地球温暖化※1・大気汚染)、省エネルギー、自然環境・農業の保全、環境教育の取組などを推進してきました。</p> <p data-bbox="1059 1189 2009 1457">一方、我が国では平成27年に開催した国連気候変動枠組条約(UNFCCC)※2第21回締約国会議(COP21) <u>において採択</u>された「パリ協定」※3の枠組みを受けて、日本の中期目標として2030年度の温室効果ガスの排出を2013年度の水準から <u>46%</u>削減することを目標として定め、その後、2020年に当時の内閣総理大臣が2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言 <u>しました。</u>また、令和6年には環境基本法第15条に基づく <u>全ての</u></p>	<p data-bbox="2033 175 2139 252">p.1 (削除)</p> <p data-bbox="2049 702 2139 877">(削除) (変更) (変更) (変更)</p> <p data-bbox="2049 989 2139 1021">(追加)</p> <p data-bbox="2049 1228 2139 1260">(変更)</p> <p data-bbox="2049 1324 2139 1356">(変更)</p> <p data-bbox="2049 1420 2139 1452">(変更)</p>

旧	新	備考
<p>に基づく<u>すべて</u>の環境分野を統合する最上位の計画として目指すべき文明・経済社会の在り方を提示した第六次環境基本計画を策定し、<u>循環型共生社会</u>を推進していくことを目標としました。</p> <p>その中において、市は令和5年にゼロカーボンシティ宣言を行い、「行政のみならず市民や事業者の皆様との協働の中で、2050年までに二酸化炭素の実質排出ゼロを目指してまいりたい」と表明を<u>いたしました。</u></p> <p>(略)</p> <p>注釈</p> <p><u>1※</u> (略)</p> <p><u>2※</u> (略)</p> <p><u>3※</u> <u>平成9年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)において採択されたもので、先進各国の温室効果ガスの排出量について法的拘束力のある数値目標を決定</u></p> <p>2 計画の位置付け</p> <p>(略)</p> <p>3 計画の範囲</p> <p>(略)</p> <p>この計画においては、第2次計画に引き続き「生活環境」、「地球環境」、「自然環境・農業」及び「環境コミュニティ」の4つを対象とし、それぞれの分野が扱う内容を次のページのとおりとします。</p>	<p>環境分野を統合する最上位の計画として目指すべき文明・経済社会の在り方を提示した第六次環境基本計画を策定し、<u>循環共生型社会</u>を推進していくことを目標としました。</p> <p>その中において、市は令和5年にゼロカーボンシティ宣言を行い、「行政のみならず市民や事業者の皆様との協働の中で、2050年までに二酸化炭素の実質排出ゼロを目指してまいりたい」と表明を<u>しました。</u></p> <p>(略)</p> <p>注釈</p> <p><u>※1</u> (略)</p> <p><u>※2</u> (略)</p> <p><u>※3</u> <u>先進国、途上国の区別なく、全ての国が温室効果ガス排出削減等の気候変動の取組に参加する枠組み</u></p> <p>2 計画の位置付け</p> <p>(略)</p> <p>3 計画の範囲</p> <p>(略)</p> <p>この計画においては、第2次計画に引き続き「生活環境」、「地球環境」、「自然環境・農業」及び「環境コミュニティ」の4つを対象とし、それぞれの分野が扱う内容を次<u>(削除)</u>のとおりとします。</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>p.2</p> <p>(削除)</p>

旧	新	備考
<p>(略)</p> <p>4 計画の期間</p> <p>(略)</p> <p>5 計画の構成</p> <p>この計画の構成は、次ページの図に示すとおり、計画策定の基本的な考え方を示した後、条例の基本理念などを踏まえ、目指すべき環境の姿を定め、これを実現するために基本目標「行動が広がり、<u>想い</u>が受け継がれる『環(わ)のまち』たきかわ」を掲げます。</p> <p>(略)</p> <p>表</p> <p>第3章 現状と課題を踏まえた目指すべき環境の姿と基本目標</p> <p>基本目標 行動が広がり、<u>想い</u>が受け継がれる『環(わ)のまち』たきかわ</p> <p>生活環境 (略)</p> <p>地球環境 (略)</p> <p>自然環境・農業 (略)</p> <p>環境コミュニティ 誰もが環境に関われ、携わる人の<u>想い</u>が世代を超えて波及するまち</p>	<p>(略)</p> <p>4 計画の期間</p> <p>(略)</p> <p>5 計画の構成</p> <p>この計画の構成は、次ページの図に示すとおり、計画策定の基本的な考え方を示した後、条例の基本理念などを踏まえ、目指すべき環境の姿を定め、これを実現するために基本目標「行動が広がり、<u>想(おも)い</u>が受け継がれる『環(わ)のまち』たきかわ」を掲げます。</p> <p>(略)</p> <p>表</p> <p>第3章 現状と課題を踏まえた目指すべき環境の姿と基本目標</p> <p>基本目標 行動が広がり、<u>想(おも)い</u>が受け継がれる『環(わ)のまち』たきかわ</p> <p>生活環境 (略)</p> <p>地球環境 (略)</p> <p>自然環境・農業 (略)</p> <p>環境コミュニティ 誰もが環境に関われ、携わる人の<u>想(おも)い</u>が世代を超えて波及するまち</p>	<p>p.3</p> <p>(追加)</p> <p>p.4</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

旧	新	備考
<p>第2章 第2次滝川市環境基本計画の取組状況を踏まえた現状と課題</p> <p>(略)</p> <p>さらに、自然環境や農業、環境活動など、本市が有する多様な環境資源や人材が十分に<u>活</u>かされておらず、分野間や世代間のつながりが限定的であることも、環境の価値が広く共有されにくい要因となっています。</p> <p>これらの状況から、第2次計画において積み重ねてきた取組を基礎としつつ、今後は、環境行動の効果や価値を「見える化」し、日常生活や事業活動との結び<u>つき</u>をより一層強めるとともに、誰もが関わりやすい環境づくりを進めていくことが求められています。</p> <p>(略)</p> <p>1 生活環境（身近な問題）</p> <p>(1) 第2次計画における主な取組と成果</p> <p>(略)</p> <p>(2) 第2次計画における数値目標・データから見た現状</p> <p>市民1人1日当たりのごみ排出量は、令和6年度で547gとなり、第2次計画策定当初と比較して減少傾向にあるものの、全体のごみ排出量（家庭系ごみ+事業系ごみ）として比較した場合、国及び北海道の1人1日当たりのごみ排出量※4を上回っています。</p> <p>また、リサイクル率については、令和4年度に終了した資源物の拠点回収</p>	<p>第2章 第2次滝川市環境基本計画の取組状況を踏まえた現状と課題</p> <p>(略)</p> <p>さらに、自然環境や農業、環境活動など、本市が有する多様な環境資源や人材が十分に<u>活(い)</u>かされておらず、分野間や世代間のつながりが限定的であることも、環境の価値が広く共有されにくい要因となっています。</p> <p>これらの状況から、第2次計画において積み重ねてきた取組を基礎としつつ、今後は、環境行動の効果や価値を「見える化」し、日常生活や事業活動との結び<u>付き</u>をより一層強めるとともに、誰もが関わりやすい環境づくりを進めていくことが求められています。</p> <p>(略)</p> <p>1 生活環境（身近な問題）</p> <p>(1) 第2次計画における主な取組と成果</p> <p>(略)</p> <p>(2) 第2次計画における数値目標・データから見た現状</p> <p>市民1人1日当たりのごみ排出量<u>(図1)</u>は、令和6年度で547gとなり、第2次計画策定当初と比較して減少傾向にあるものの、全体のごみ排出量（家庭系ごみ+事業系ごみ）として比較した場合、国及び北海道の1人1日当たりのごみ排出量※4 <u>(図2)</u>を上回っています。</p> <p>また、リサイクル率<u>(図3)</u>については、令和4年度に終了した資源物の</p>	<p>p.5</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>p.6</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p>

旧	新	備考
<p>の影響もあり、一時的に大きく低下し、その後回復傾向にあるものの、第2次計画で設定した目標値には達していません。</p> <p>注釈 <u>4※</u> (略)</p> <p>(3) アンケート・協議結果から見える状況</p> <p>(略)</p> <p>また、環境市民委員会における協議では、分別やエコ行動による効果が実感しにくいこと、資源循環の仕組みや回収後の流れが見え<u>づらい</u>ことが、行動の定着を妨げているとの意見が出されました。</p> <p>(4) 現状の整理と課題 以上を踏まえ、生活環境分野における現状と課題は次のとおり整理されます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮行動による効果やメリットが市民・事業者十分に伝わっていない ・分別や排出方法が分かり<u>づらく</u>、行動の負担感につながっている ・資源循環の仕組みや回収後の活用状況が見えにくく、リサイクル率向上につながりにくい ・ポイ捨てや不法投棄を<u>招きやすい景観・環境が一部に残っている</u> 	<p>拠点回収の影響もあり、一時的に大きく低下し、その後回復傾向にあるものの、第2次計画で設定した目標値には達していません。</p> <p>注釈 <u>※4</u> (略)</p> <p>(3) アンケート・協議結果から見える状況</p> <p>(略)</p> <p>また、環境市民委員会における協議では、分別やエコ行動による効果が実感しにくいこと、資源循環の仕組みや回収後の流れが見え<u>にくい</u>ことが、行動の定着を妨げているとの意見が出されました。</p> <p>(4) 現状の整理と課題 以上を踏まえ、生活環境分野における現状と課題は次のとおり整理されます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮行動による効果やメリットが市民・事業者十分に伝わっていない ・分別や排出方法が分かり<u>にくく</u>、行動の負担感につながっている ・資源循環の仕組みや回収後の活用状況が見えにくく、リサイクル率向上につながりにくい ・ポイ捨てや不法投棄を<u>防ぐ取組がより必要である</u> 	<p>(変更)</p> <p>p.7</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

旧	新	備考
<p>2 地球環境（地球全体の問題）</p> <p>（1）第2次計画における主な取組と成果</p> <p>（略）</p> <p>（2）第2次計画における数値目標・データから見た現状 温室効果ガス排出量については、令和4年時点で253千tとなり、平成27年と比較して減少しており、<u>市全体として一定の削減効果が見られます。</u></p> <p>※5 また、第2次計画で設定したエコドライブによるCO₂削減量については、高齢者講習への拡大などの取組により、目標値を大きく上回る成果を上げています。 一方、公共施設におけるエネルギー消費量については、<u>施設の所管変更等</u>による影響もあるものの、目標値を達成できる見込みとなっており、行政による率先行動は一定の成果を挙げています。</p> <p>図5 公共施設におけるエネルギー<u>原油量換算値</u>（単位：kl）</p> <p>注釈 <u>5※</u>（略）</p> <p>（3）アンケート・協議結果から見える状況</p> <p>（略）</p> <p>環境市民委員会での協議では、「地球温暖化」という言葉が抽象的で身近</p>	<p>2 地球環境（地球全体の問題）</p> <p>（1）第2次計画における主な取組と成果</p> <p>（略）</p> <p>（2）第2次計画における数値目標・データから見た現状 <u>滝川市全体の</u>温室効果ガス排出量については、令和4年時点で253千tとなり、平成27年<u>時点の326千t</u>と比較して減少しており、<u>削減されていることが確認できます。</u>※5 また、第2次計画で設定したエコドライブによるCO₂削減量<u>（図4）</u>については、高齢者講習への拡大などの取組により、目標値を大きく上回る成果を上げています。 一方、公共施設におけるエネルギー消費量<u>（図5）</u>については、<u>公共施設数の増減等</u>による影響もあるものの、目標値を達成できる見込みとなっており、行政による率先行動は一定の成果を挙げています。</p> <p>図5 公共施設におけるエネルギー<u>消費量（原油量換算値）</u>（単位：kl）</p> <p>注釈 <u>※5</u>（略）</p> <p>（3）アンケート・協議結果から見える状況</p> <p>（略）</p> <p>環境市民委員会での協議では、「地球温暖化」という言葉が抽象的で身近</p>	<p></p> <p>（追加） （追加） （変更） （追加） （追加） （変更） （変更） （変更） p.8</p>

旧	新	備考
<p>に感じにくいことや、補助制度の内容が分かりづらいことが、行動につながりにくい要因として指摘されました。</p> <p>(4) 現状の整理と課題 以上を踏まえ、地球環境分野における現状と課題は次のとおり整理されます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化が日常生活との結びつきの中で理解されにくく、対策の必要性が実感されにくい ・省エネルギーや脱炭素行動について、具体的な行動例や効果が十分に共有されていない ・補助制度の内容や活用方法が分かりづらく、市民・事業者の行動促進につながっていない ・再生可能エネルギーや次世代自動車等について、地域特性や経済性を踏まえた理解が進んでいない ・地球規模の環境問題や開発による環境影響についての情報発信が不足している <p>3 自然環境・農業（自然・農業の活用）</p> <p>(1) 第2次計画における主な取組と成果 本市では、第2次環境基本計画に基づき、森林や河川をはじめとする自然環境の保全と活用、並びに農業体験や食育を通じた環境への理解促進に取り組んできました。</p> <p>(略)</p>	<p>に感じにくいことや、補助制度の内容が分かりにくいことが、行動につながりにくい要因として指摘されました。</p> <p>(4) 現状の整理と課題 以上を踏まえ、地球環境分野における現状と課題は次のとおり整理されます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化が日常生活との結び付きの中で理解されにくく、対策の必要性が実感されにくい ・省エネルギーや脱炭素行動について、具体的な行動例や効果が十分に共有されていない ・補助制度の内容や活用方法が分かりにくく、市民・事業者の行動促進につながっていない ・再生可能エネルギーや次世代自動車等について、地域特性や経済性を踏まえた理解が進んでいない ・地球規模の環境問題や開発による環境影響についての情報発信が不足している <p>3 自然環境・農業（自然・農業の活用）</p> <p>(1) 第2次計画における主な取組と成果 本市では、第2次環境基本計画に基づき、森林や河川を始めとする自然環境の保全と活用及び農業体験や食育を通じた環境への理解促進に取り組んできました。</p> <p>(略)</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

旧	新	備考
<p>(2) 第2次計画における数値目標・データから見た現状</p> <p>滝川市の森林面積は、市域の約11%※6を占めており、近年は微増傾向にありますが、市街地周辺における身近な自然環境については、その価値が十分に<u>活</u>かされているとは言い難い状況にあります。</p> <p>また、第2次計画で指標として設定した「たきかわエコネット」登録団体による自然保護活動の参加人数や、農業体験授業の実施率については、いずれも目標値を大きく上回る実績を上げており、取組自体は一定程度定着している状況にあります。</p> <p>注釈</p> <p><u>6※</u> (略)</p> <p>図6 エコネット登録団体の自然保護活動参加人数(単位:人)</p> <p>目標値 8,700人</p> <p>(3) アンケート・協議結果から見える状況</p> <p>(略)</p> <p>また、環境市民委員会における協議では、滝川を<u>代表する</u>河川や身近な自然が十分に活用されていないこと、自然環境の維持・管理を行っている人や団体の取組が市民に伝わりにくいことが指摘されました。</p> <p>(略)</p>	<p>(2) 第2次計画における数値目標・データから見た現状</p> <p>滝川市の森林面積は、市域の約11%※6を占めており、近年は微増傾向にありますが、市街地周辺における身近な自然環境については、その価値が十分に<u>活(い)</u>かされているとは言い難い状況にあります。</p> <p>また、第2次計画で指標として設定した「たきかわエコネット」登録団体による自然保護活動の参加人数 <u>(図6)</u> や農業体験授業の実施率 <u>(図7)</u> については、いずれも目標値を大きく上回る実績を上げており、取組自体は一定程度定着している状況にあります。</p> <p>注釈</p> <p><u>※6</u> (略)</p> <p>図6 エコネット登録団体の自然保護活動参加人数(単位:人)</p> <p>目標値 <u>(累計)</u> 8,700人</p> <p>(3) アンケート・協議結果から見える状況</p> <p>(略)</p> <p>また、環境市民委員会における協議では、滝川 <u>の特徴である大きな</u> 河川や身近な自然が十分に活用されていないこと、自然環境の維持・管理を行っている人や団体の取組が市民に伝わりにくいことが指摘されました。</p> <p>(略)</p>	<p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>p.9</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p>

旧	新	備考
<p>(4) 現状の整理と課題</p> <p>以上を踏まえ、地球環境分野における現状と課題は次のとおり整理されます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝川市の自然環境に対する満足度は高いものの、身近な自然と触れ合う機会が十分に創出されていない ・自然環境の保全や維持管理に携わる人や団体の取組が市民に伝わりにくく、関心や参加につながりにくい ・河川や森林、景観など、地域資源としての自然環境の活用が十分に進んでいない ・農業体験や食育の取組は行われているものの、市民全体への波及や農業理解の深化には課題がある ・農業の持つ地産地消などの環境保全機能や地域との関わりについて、発信や学びの機会が不足している <p>4 環境コミュニティ（人とのつながり）</p> <p>(1) 第2次計画における主な取組と成果</p> <p>(略)</p> <p>(2) 第2次計画における数値目標・データから見た現状</p> <p>第2次計画において設定した環境学習リーダー養成数については、目標値を上回る実績を上げており、若い世代を中心とした人材育成の取組は一定の成果を挙げています。</p> <p>また、環境市民大会や環境関連イベントの参加者数及び評価点についても、目標を概ね達成しており、取組内容に対する理解や満足度は高い水準に</p>	<p>(4) 現状の整理と課題</p> <p>以上を踏まえ、地球環境分野における現状と課題は次のとおり整理されます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝川市の自然環境に対する満足度は高いものの、身近な自然と触れ合う機会が十分に創出されていない ・自然環境の保全や維持管理に携わる人、団体の取組が市民に伝わりにくく、関心や参加につながりにくい ・河川や森林、景観など、地域資源としての自然環境の活用が十分に進んでいない ・農業体験や食育の取組は行われているものの、市民全体への波及や農業理解の深化には課題がある ・農業の持つ地産地消などの環境保全機能や地域との関わりについて、発信や学びの機会が不足している <p>4 環境コミュニティ（人とのつながり）</p> <p>(1) 第2次計画における主な取組と成果</p> <p>(略)</p> <p>(2) 第2次計画における数値目標・データから見た現状</p> <p>第2次計画において設定した環境学習リーダー養成数(図8)については、目標値を上回る実績となり、若い世代を中心とした人材育成の取組は一定の成果を挙げています。</p> <p>また、環境市民大会や環境関連イベントの参加者数及び評価点(図9,図10)についても、目標をおおむね達成しており、取組内容に対する理解や満</p>	<p>(変更)</p> <p>p.10</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p>

旧	新	備考
<p>あります。</p> <p>(略)</p> <p>図8 環境学習リーダー養成数(単位:人) 目標値 350人</p> <p>図10 環境関連イベントにおける参加者の平均評価点(単位:点) 目標値 85点</p> <p>(3) アンケート・協議結果から見える状況</p> <p>(略)</p> <p>(4) 現状の整理と課題 以上を踏まえ、環境コミュニティ分野における現状と課題は次のとおり整理されます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する活動やイベント、団体の情報が十分に共有されておらず、市民が参加するきっかけを得にくい ・環境活動が一部の担い手に支えられており、裾野の拡大や新たな参加者の確保が進んでいない ・SDGsと環境行動との関係が分かりにくく、行動選択につながりにくい ・世代や立場を超えて交流できる環境コミュニティの場が不足している ・子どもや若い世代の影響力を十分に活かしきれていない 	<p>足度は高い水準にあります。</p> <p>(略)</p> <p>図8 環境学習リーダー養成数(単位:人) 目標値 <u>(累計)</u> 350人</p> <p>図10 環境関連イベントにおける参加者の平均評価点(単位:点) 目標値 <u>(平均点)</u> 85点</p> <p>(3) アンケート・協議結果から見える状況</p> <p>(略)</p> <p>(4) 現状の整理と課題 以上を踏まえ、環境コミュニティ分野における現状と課題は次のとおり整理されます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する活動やイベント、団体の情報が十分に共有されておらず、市民が参加するきっかけを得にくい ・環境活動が一部の担い手に支えられており、裾野の拡大や新たな参加者の確保が進んでいない ・SDGsと環境行動との関係が分かりにくく、行動選択につながりにくい ・世代や立場を超えて交流できる環境コミュニティの場が不足している ・子どもや若い世代の影響力を十分に<u>活(い)</u>かしきれていない 	<p></p> <p>(追記)</p> <p>(追記)</p> <p>p.11</p> <p>(追加)</p>

旧	新	備考
<p data-bbox="168 220 954 252">第3章 現状と課題を踏まえた目指すべき環境の姿と基本目標</p> <p data-bbox="94 317 398 349">1 目指すべき環境の姿</p> <p data-bbox="105 413 159 445">(略)</p> <p data-bbox="89 510 1032 636">これらの課題を踏まえ、本計画では、環境を特別なものとして捉えるのではなく、日常生活や事業活動の中に自然に位置付けられ、<u>二人</u>ひとりが環境を「自分事」として考え、行動を選択できる状態を目指します。</p> <p data-bbox="89 654 1032 780">環境への関心や行動が人から人へと広がり、世代を超えて受け継がれていくことで、人と環境がつながり合う『<u>環</u>のまち』を築いていくことを、本市が目指すべき環境の姿とします。</p> <p data-bbox="94 845 409 877">2 基本目標【全体目標】</p> <p data-bbox="116 895 893 927">行動が広がり、<u>想</u>いが受け継がれる『環(わ)のまち』たきかわ</p> <p data-bbox="94 992 342 1024">3 分野別基本目標</p> <p data-bbox="116 1042 324 1074">生活環境 (略)</p> <p data-bbox="116 1091 324 1123">地球環境 (略)</p> <p data-bbox="116 1141 409 1173">自然環境・農業 (略)</p> <p data-bbox="116 1190 336 1222">環境コミュニティ</p> <p data-bbox="145 1240 1032 1313">目標4：誰もが環境に関われ、携わる人の<u>想</u>いが世代を超えて波及するまち</p> <p data-bbox="105 1378 159 1410">(略)</p>	<p data-bbox="1137 220 1924 252">第3章 現状と課題を踏まえた目指すべき環境の姿と基本目標</p> <p data-bbox="1066 317 1370 349">1 目指すべき環境の姿</p> <p data-bbox="1077 413 1131 445">(略)</p> <p data-bbox="1061 510 2004 636">これらの課題を踏まえ、本計画では、環境を特別なものとして捉えるのではなく、日常生活や事業活動の中に自然に位置付けられ、<u>1人</u>ひとりが環境を「自分事」として考え、行動を選択できる状態を目指します。</p> <p data-bbox="1061 654 2004 780">環境への関心や行動が人から人へと広がり、世代を超えて受け継がれていくことで、人と環境がつながり合う『<u>環(わ)</u>のまち』を築いていくことを、本市が目指すべき環境の姿とします。</p> <p data-bbox="1066 845 1382 877">2 基本目標【全体目標】</p> <p data-bbox="1088 895 1951 927">行動が広がり、<u>想(おも)</u>いが受け継がれる『環(わ)のまち』たきかわ</p> <p data-bbox="1066 992 1314 1024">3 分野別基本目標</p> <p data-bbox="1088 1042 1296 1074">生活環境 (略)</p> <p data-bbox="1088 1091 1296 1123">地球環境 (略)</p> <p data-bbox="1088 1141 1382 1173">自然環境・農業 (略)</p> <p data-bbox="1088 1190 1308 1222">環境コミュニティ</p> <p data-bbox="1120 1240 2004 1313">目標4：誰もが環境に関われ、携わる人の<u>想(おも)</u>いが世代を超えて波及するまち</p> <p data-bbox="1077 1378 1131 1410">(略)</p>	<p data-bbox="2029 177 2092 209">p.12</p> <p data-bbox="2051 560 2136 592">(変更)</p> <p data-bbox="2051 703 2136 735">(追加)</p> <p data-bbox="2051 895 2136 927">(追加)</p> <p data-bbox="2051 1240 2136 1272">(追加)</p>

旧	新	備考
<p data-bbox="333 220 786 252">第4章 各分野の取組（行動）内容</p> <p data-bbox="87 316 1032 687">前章にて、目指すべき環境の姿として、「人」と「環境」のつながりを示したところですが、次ページからの具体的な取組（行動）内容を進めるにあたり、全体の共通認識として、「人」と「環境」のつながりはもちろんのこと、分野間でのつながりも意識して行動する必要があります。基本目標である「行動が広がり、<u>想</u>いが受け継がれる『<u>環</u>のまち』たきかわ」の実現に向け、4つの分野全体に関する取組の方向性や、市民・事業者・市が一体となって取り組む行動を「つながりアクションたきかわ」として位置付け、分野別に具体的な取組（行動）内容を示します。</p> <p data-bbox="87 751 568 783">図 <u>二</u>つながりアクションたきかわ<u>二</u></p> <p data-bbox="91 847 423 879">1 生活環境（身近な問題）</p> <p data-bbox="103 943 1032 1023">(1) 基本目標：資源循環の価値を理解し、環境にやさしい行動を選択できるまち</p> <p data-bbox="103 1086 539 1118">(2) 主体ごとの取組（行動）内容</p> <p data-bbox="118 1134 512 1166">ア 環境に配慮した行動の実践</p> <p data-bbox="141 1182 748 1214">1) 人の理解と環境行動を支える情報の見える化</p> <p data-bbox="170 1230 465 1262">情報収集・発信（略）</p> <p data-bbox="170 1278 344 1310">環境配慮行動</p> <p data-bbox="199 1326 1032 1406">市民 ◆使い捨て製品の使用を控え、再利用可能製品（マイ<u>ハシ</u>・マイボトル等）を利用します。</p> <p data-bbox="199 1422 1032 1453">市 ◆再利用可能製品（マイ<u>ハシ</u>・マイボトル等）の普及キャン</p>	<p data-bbox="1308 220 1760 252">第4章 各分野の取組（行動）内容</p> <p data-bbox="1059 316 2004 687">前章にて、目指すべき環境の姿として、「人」と「環境」のつながりを示したところですが、次ページからの具体的な取組（行動）内容を進めるにあたり、全体の共通認識として、「人」と「環境」のつながりはもちろんのこと、分野間でのつながりも意識して行動する必要があります。基本目標である「行動が広がり、<u>想(おも)</u>いが受け継がれる『<u>環(わ)</u>のまち』たきかわ」の実現に向け、4つの分野全体に関する取組の方向性や、市民・事業者・市が一体となって取り組む行動を「つながりアクションたきかわ」として位置付け、分野別に具体的な取組（行動）内容を示します。</p> <p data-bbox="1059 751 1541 783">図 <u>一</u>つながりアクションたきかわ<u>一</u></p> <p data-bbox="1064 847 1395 879">1 生活環境（身近な問題）</p> <p data-bbox="1075 943 2004 1023">(1) 基本目標：資源循環の価値を理解し、環境にやさしい行動を選択できるまち</p> <p data-bbox="1075 1086 1512 1118">(2) 主体ごとの取組（行動）内容</p> <p data-bbox="1090 1134 1485 1166">ア 環境に配慮した行動の実践</p> <p data-bbox="1113 1182 1720 1214">1) 人の理解と環境行動を支える情報の見える化</p> <p data-bbox="1142 1230 1438 1262">情報収集・発信（略）</p> <p data-bbox="1142 1278 1317 1310">環境配慮行動</p> <p data-bbox="1171 1326 2004 1406">市民 ◆使い捨て製品の使用を控え、再利用可能製品（マイ<u>箸</u>・マイボトル等）を利用します。</p> <p data-bbox="1171 1422 2004 1453">市 ◆再利用可能製品（マイ<u>箸</u>・マイボトル等）の普及キャン</p>	<p data-bbox="2029 172 2092 204">p.14</p> <p data-bbox="2051 507 2136 539">(追加)</p> <p data-bbox="2051 746 2136 778">(変更)</p> <p data-bbox="2029 802 2092 834">p.15</p> <p data-bbox="2051 1329 2136 1361">(変更)</p> <p data-bbox="2051 1425 2136 1457">(変更)</p>

旧	新	備考
<p>ペーンを行います。</p> <p>イ 循環経済（サーキュラーエコノミー）の推進 （略）</p> <p>ウ 環境美化活動の推進</p> <p>1) 生活環境の美化 生活環境の美化</p> <p>市 ◆たきかわクリーンデーの期間を設定し、清掃ボランティアの参加を呼びかけます。</p> <p>ポイ捨て・不法投棄対策</p> <p>市 ◆ごみを捨てられづらい環境づくりを検討します。</p> <p>(3) 成果指標</p> <p>1 市民1人1日当たりのごみ排出量（家庭系ごみ（資源ごみを除く。)) （略）</p> <p>2 リサイクル率 現状（令和6年度）17.8% 目標（令和17年度）23.3%</p> <p>3 ポイ捨て・不法投棄量 （略）</p> <p>2 地球環境（地球全体の問題）</p> <p>(1) 基本目標：環境問題を身近に感じ、日常生活の中で意識して行動できるまち</p> <p>(2) 主体ごとの取組（行動）内容</p> <p>ア 地球温暖化対策と日常生活の結びつきの強化</p> <p>1) 地球温暖化と温暖化対策への理解浸透</p>	<p>ーンを行います。</p> <p>イ 循環経済（サーキュラーエコノミー）の推進 （略）</p> <p>ウ 環境美化活動の推進</p> <p>1) 生活環境の美化 生活環境の美化</p> <p>市 ◆たきかわクリーンデーの期間を設定し、清掃ボランティアの参加を呼び掛けます。</p> <p>ポイ捨て・不法投棄対策</p> <p>市 ◆ごみを捨てられにくい環境づくりを検討します。</p> <p>(3) 成果指標</p> <p>1 市民1人1日当たりのごみ排出量（家庭系ごみ（資源ごみを除く。)) （略）</p> <p>2 リサイクル率 現状（令和6年度）17.8% 目標（令和17年度）22.4%</p> <p>3 ポイ捨て・不法投棄量 （略）</p> <p>2 地球環境（地球全体の問題）</p> <p>(1) 基本目標：環境問題を身近に感じ、日常生活の中で意識して行動できるまち</p> <p>(2) 主体ごとの取組（行動）内容</p> <p>ア 地球温暖化対策と日常生活の結び付きの強化</p> <p>1) 地球温暖化と温暖化対策への理解浸透</p>	<p>p.16</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>p.17</p> <p>(変更)</p> <p>p.18</p> <p>(変更)</p>

旧	新	備考
<p>(略)</p> <p>2) 省エネルギー・脱炭素行動を選択しやすい環境整備 省エネルギー・脱炭素行動の実践 (略)</p> <p>イ その他の地球環境問題への対応 (略)</p> <p>(3) 成果指標</p> <p>1 エコドライブ講習受講者数及びエコドライブによる CO₂ 削減量 (略)</p> <p>2 滝川市内線バス利用による CO₂ 削減量 目標 (令和 17 年度) <u>38,907 kg</u></p> <p>3 滝川市の公共施設における二酸化炭素排出量 (1 年間に消費したエネルギー量を二酸化炭素排出量に換算) 現状 (令和 6 年度) 9,318 t 目標 (令和 17 年度) <u>7,930 t</u></p> <p>3 自然環境・農業 (自然・農業の活用)</p> <p>(1) 基本目標: 人と自然をつなぎ、恩恵を実感することで、環境価値を活用できるまち</p> <p>(2) 主体ごとの取組 (行動) 内容</p> <p>ア 身近な自然資源の活用</p> <p>1) 身近な自然とふれあえる機会・学びの環境づくり 機会・学びの環境づくり 市民 ◆体験・学習会を通して身近な自然と<u>ふれあ</u>います。</p>	<p>(略)</p> <p>2) 省エネルギー・脱炭素行動を選択しやすい環境整備 省エネルギー・脱炭素行動の実践 市 ◆<u>公共施設を新設する場合において、エネルギー効率を高めるために ZEB/ZEH などに取り組みます。</u></p> <p>イ その他の地球環境問題への対応 (略)</p> <p>(3) 成果指標</p> <p>1 エコドライブ講習受講者数及びエコドライブによる CO₂ 削減量 (略)</p> <p>2 滝川市内線バス利用による CO₂ 削減量 目標 (令和 17 年度) <u>38,994 kg</u></p> <p>3 滝川市の公共施設における二酸化炭素排出量 (1 年間に消費したエネルギー量を二酸化炭素排出量に換算) 現状 (令和 6 年度) 9,318 t 目標 (令和 17 年度) <u>7,505 t</u></p> <p>3 自然環境・農業 (自然・農業の活用)</p> <p>(1) 基本目標: 人と自然をつなぎ、恩恵を実感することで、環境価値を活用できるまち</p> <p>(2) 主体ごとの取組 (行動) 内容</p> <p>ア 身近な自然資源の活用</p> <p>1) 身近な自然とふれあえる機会・学びの環境づくり 機会・学びの環境づくり 市民 ◆体験・学習会を通して身近な自然と<u>触れ合</u>います。</p>	<p>p.19 (追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>p.20 (変更)</p>

旧	新	備考
<p>2) 地域の緑地・公園・自然資源の質向上と魅力発信 (略)</p> <p>イ 農業への理解・体験機会の充実と食育の推進</p> <p>1) 農業への理解・体験機会の充実 体験機会の充実 事業者 ◆農業体験の<u>受け入れ</u>を推進します。</p> <p>2) 地産地消などによる食育の推進 (略)</p> <p>(3) 成果指標</p> <p>1 エコネット登録団体の自然保護活動参加人数 現状(令和6年度) 4,274人 目標(令和17年度) <u>5,915人</u></p> <p>2 農業体験授業(事業)の実施校数実施率(保育所・幼稚園を含む) (略)</p> <p>4 環境コミュニティ(人とのつながり)</p> <p>(1) 基本目標:誰もが環境に関われ、携わる人の<u>想</u>が世代を超えて波及するまち</p> <p>(2) 主体ごとの取組(行動)内容</p> <p>ア 人と環境がつながる場所の形成 (略)</p> <p>イ 環境教育や活動の充実</p> <p>1) こどもを中心とした環境教育と環境イベントの推進 環境イベントの実施 (略) 環境教育の充実</p>	<p>2) 地域の緑地・公園・自然資源の質向上と魅力発信 (略)</p> <p>イ 農業への理解・体験機会の充実と食育の推進</p> <p>1) 農業への理解・体験機会の充実 体験機会の充実 事業者 ◆農業体験の<u>受入れ</u>を推進します。</p> <p>2) 地産地消などによる食育の推進 (略)</p> <p>(3) 成果指標</p> <p>1 エコネット登録団体の自然保護活動参加人数 現状(令和6年度) 4,274人 目標(令和17年度) <u>5,374人</u></p> <p>2 農業体験授業(事業)の実施校数実施率(保育所・幼稚園を含む) (略)</p> <p>4 環境コミュニティ(人とのつながり)</p> <p>(1) 基本目標:誰もが環境に関われ、携わる人の<u>想(おも)</u>いが世代を超えて波及するまち</p> <p>(2) 主体ごとの取組(行動)内容</p> <p>ア 人と環境がつながる場所の形成 (略)</p> <p>イ 環境教育や活動の充実</p> <p>1) こどもを中心とした環境教育と環境イベントの推進 環境イベントの実施 (略) 環境教育の充実</p>	<p>(変更)</p> <p>p.21</p> <p>(変更)</p> <p>p.22</p> <p>(追加)</p> <p>p.23</p>

旧	新	備考
<p style="text-align: center;">第5章 計画の推進と進行管理</p> <p>1 計画推進のための体制・組織</p> <p>(略)</p> <p>2 推進の方針</p> <p>(略)</p> <p>(2) 他の自治体や国・北海道などとの連携 複数<small>の</small>市町村が関わる広域的な問題などについては、関係市町村や国、北海道などと連携した<u>数組</u>を進めるほか、必要に応じて国や道への要請を行い、広域的な視点からの取組を推進します。</p> <p>図 国・道 ・環境基本法 ・<u>北海道環境基本計画</u> <u>(第六次計画)</u> など</p> <p>3 計画の推進と進行管理</p> <p>(略)</p>	<p style="text-align: center;">第5章 計画の推進と進行管理</p> <p>1 計画推進のための体制・組織</p> <p>(略)</p> <p>2 推進の方針</p> <p>(略)</p> <p>(2) 他の自治体や国・北海道などとの連携 複数<small>の</small>市町村が関わる広域的な問題などについては、関係市町村や国、北海道などと連携した<u>取組</u>を進めるほか、必要に応じて国や道への要請を行い、広域的な視点からの取組を推進します。</p> <p>図 国・道 ・環境基本法 ・<u>環境基本計画</u> <u>(第六次計画)</u> ・<u>北海道環境基本計画</u> <u>(第3次計画)</u> など</p> <p>3 計画の推進と進行管理</p> <p>(略)</p>	<p>p.24</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>p.25</p>

旧	新	備考
<p style="text-align: center;">資料編</p> <p>資料1 ○成果指標における数値目標の考え方</p> <p>1 市民1人1日当たりのごみ排出量（家庭系ごみ（資源ごみを除く。）） （略）</p> <p>2 リサイクル率 【数値目標】 令和17年度 23.3% ← 令和6年度実績 17.8% ◇計算式 リサイクル率（%）＝ （資源化量（資源回収以外）(t)＋資源回収量(t)）/（ごみ総処理量(t)＋資源回収量(t)）×100 [令和6年度] 1,225 938 11,200 938 =17.8% [令和17年度] 1,675 1,207 11,164 1,207 =23.3% ◇目標設定の考え方◇ ・令和6年度の資源化量（資源回収以外）・資源回収量・ごみ総処理量は実機値によるものです。 ・資源回収量・ごみ総処理量の目標値は、平成29年処理基本計画を基に算出したものです。 ・資源化量（資源回収以外）の目標値は、ごみ総処理量に対する資源化（資源回収以外）の占める割合を15%（令和6年度実績値約12%）として算出しています。</p>	<p style="text-align: center;">資料編</p> <p>資料1 ○成果指標における数値目標の考え方</p> <p>1 市民1人1日当たりのごみ排出量（家庭系ごみ（資源ごみを除く。）） （略）</p> <p>2 リサイクル率 【数値目標】 令和17年度 22.4% ← 令和6年度実績 17.8% ◇計算式 リサイクル率（%）＝ （資源化量（資源回収以外）(t)＋資源回収量(t)）/（ごみ総処理量(t)＋資源回収量(t)）×100 [令和6年度] 1,225 938 11,200 938 =17.8% [令和17年度] 1,563 1,207 11,164 1,207 =22.4% ◇目標設定の考え方◇ ・令和6年度の資源化量（資源回収以外）・資源回収量・ごみ総処理量は実数値によるものです。 ・資源回収量・ごみ総処理量の目標値は、平成29年処理基本計画を基に算出したものです。 ・資源化量（資源回収以外）の目標値は、ごみ総処理量に対する資源化（資源回収以外）の占める割合を14%（令和6年度実績約11%）として算出しています。</p>	<p>p.26</p> <p>（変更）</p> <p>（追加）</p> <p>（変更）</p> <p>（変更）</p> <p>（変更）</p>

旧	新	備考
<p>3 ポイ捨て・不法投棄量</p> <p>【数値目標】</p> <p>令和17年度 2,710 kg ← 令和6年度実績 3,790 kg</p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <p>・滝川市の不法投棄監視員が回収し処理を行った不法投棄・ポイ捨てごみの令和6年度実績を基準としつつ、令和6年度以降の処理量から前年度比として毎年3%削減していった数値を目標値としています。</p> <p>4 エコドライブ講習受講者数及びエコドライブによるCO₂削減量</p> <p>【数値目標】</p> <p>年間の受講者数 2,700人、CO₂削減量 929,340 kg</p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <p><u>・1年あたりの卒業時講習及び高齢者講習時に行うエコドライブ受講者2,700名を年度毎の取り組み者数とし、資源エネルギー庁公開の「無理のない省エネ節約～自動車～」で示されたガソリン節約量（年間10,000km走行、平均燃費11.6km/ℓを想定）をCO₂削減量に換算し目標値を設定しました。取り組み内容とガソリン節約量とCO₂削減量は以下のとおりです。</u></p> <p>①ふんわりアクセル「eスタート」</p> <p>5秒間で20km/ℓ程度に加速した場合</p> <p>(略)</p>	<p>3 ポイ捨て・不法投棄量</p> <p>【数値目標】</p> <p>令和17年度 2,710 kg ← 令和6年度実績 3,790 kg</p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <p>・滝川市の不法投棄監視員が回収し処理を行った不法投棄・ポイ捨てごみの令和6年度実数値を基準としつつ、令和6年度以降の処理量から前年度比として毎年3%削減していった数値を目標値としています。</p> <p>4 エコドライブ講習受講者数及びエコドライブによるCO₂削減量</p> <p>【数値目標】</p> <p>年間の受講者数 2,700人、CO₂削減量 929,340 kg</p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <p><u>・令和3年度から令和6年度までの平均受講者数について、1年あたりの卒業時講習及び高齢者講習時に行うエコドライブ受講者数が2,623人となったことから、数値目標の対象とする受講者数を2,700人とします。</u></p> <p><u>・第3次計画1年あたりのエコドライブ受講者2,700名を年度毎の取組者数として維持することとし、資源エネルギー庁公開の「無理のない省エネ節約～自動車～」で示されたガソリン節約量（年間10,000km走行、平均燃費11.6km/ℓを想定）をCO₂削減量に換算し目標値を設定しました。取組内容とガソリン節約量とCO₂削減量は以下のとおりです。</u></p> <p>①ふんわりアクセル「eスタート」</p> <p>5秒間で20km/h程度に加速した場合</p> <p>(略)</p>	<p></p> <p>(変更)</p> <p>p.27</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

旧	新	備考
<p>5 滝川市が運行する市内線バス利用による CO₂削減量</p> <p>【数値目標】</p> <p>年間の CO₂削減量 <u>38,907 kg</u></p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省のデータによると1人を1km運ぶために排出されるCO₂排出量は自家用乗用車が127g、バスが63gとなり、同じ距離を移動するとしてもバスを利用した方が自家用乗用車よりも約2分の1のCO₂を削減することが可能となります。 <u>年間のバス利用者累計数を89,400人とし、CO₂削減量を38,907kg削減することを目指します。</u> 	<p>5 滝川市が運行する市内線バス利用による CO₂削減量</p> <p>【数値目標】</p> <p>年間の CO₂削減量 <u>38,994 kg</u></p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省のデータによると1人を1km運ぶために排出されるCO₂排出量は自家用乗用車が127g、バスが63gとなり、同じ距離を移動するとしてもバスを利用した方が自家用乗用車よりも約2分の1のCO₂を削減することが可能となります。 <u>令和7年度から滝川市が運行する市内線バスの利用者数について、令和6年度まで事業者が運行していた市内線バスの利用者数と比較したところ、令和7年度の年間のバス利用者累計数が推定89,600人となります。</u> <u>年間のバス利用者累計数89,600人を維持することとし、年間のCO₂削減量を38,994kgとすることを目指します。</u> 	<p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>p.28</p>
<p>6 滝川市の公共施設における二酸化炭素排出量</p> <p>【数値目標】</p> <p>令和17年度 <u>7,930t</u> ← 令和6年度実績 9,318t</p> <p>各年度における前年度比の平均(計画期間中の平均)を1.0%減</p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の公共施設において使用する燃料及び電気の使用量を二酸化炭素排出量に換算した値について、令和7年3月に改定した第3期滝川市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(以下「事務事業編」という。)にて、<u>平成25年度の排出量16,677tを基準値としており、令和12年度までに基準値より50%削減するとしています。</u> <u>事務事業編を基に算出した令和12年度の目標排出量8,339tを基準としつつ、令和12年度以降の排出量から前年度比として毎年1%削減</u> 	<p>6 滝川市の公共施設における二酸化炭素排出量</p> <p>【数値目標】</p> <p>令和17年度 <u>7,505t</u> ← 令和6年度実績 9,318t</p> <p><u>(削除)</u></p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の公共施設において使用する燃料及び電気の使用量を二酸化炭素排出量に換算した値について、令和7年3月に改定した第3期滝川市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)<u>(削除)</u>にて、<u>平成25年度の排出量16,677tを基準値とし、令和12年度までに基準値に対して50%削減した排出量8,339tを目標値としています。</u> <u>令和12年度の目標値達成に向けて、令和7年度から令和12年度までに基準値から4%削減(毎年0.8%削減)とすることから、令和13年</u> 	<p>(変更)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

旧	新	備考																																																																																						
<p style="text-align: center;"><u>していった数値を目標値としています。</u></p> <p style="text-align: right;">(単位：t)</p> <table border="1" data-bbox="85 260 1039 333"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和12年度</th> <th>令和13年度</th> <th>令和14年度</th> <th>令和15年度</th> <th>令和16年度</th> <th>令和17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,318</td> <td>8,339</td> <td>8,256</td> <td>8,173</td> <td>8,091</td> <td>8,010</td> <td>7,930</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 エコネット登録団体の自然保護活動参加人数</p> <p>【数値目標】</p> <p>令和17年度 <u>5,915人</u> ← 令和6年度実績 4,274人</p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2次計画において、計画期間における累計8,700人を目標値としていましたが、令和6年度にて累計実績が30,994人と目標値を大幅に達成したことから、<u>単年度での人数増加を主眼として、毎3%増加していった数値を目標としています。</u> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="85 938 1039 995"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> <th>令和11年度</th> <th>令和12年度</th> <th>令和13年度</th> <th>令和14年度</th> <th>令和15年度</th> <th>令和16年度</th> <th>令和17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,274</td> <td>4,402</td> <td>4,534</td> <td>4,670</td> <td>4,810</td> <td>4,954</td> <td>5,103</td> <td>5,256</td> <td>5,414</td> <td>5,576</td> <td>5,743</td> <td>5,915</td> </tr> </tbody> </table> <p>8 農業体験授業（事業）の実施校数（保育所・幼稚園含む。）</p> <p>（略）</p> <p>9 環境学習リーダーの養成数</p> <p>（略）</p>	令和6年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	9,318	8,339	8,256	8,173	8,091	8,010	7,930	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	4,274	4,402	4,534	4,670	4,810	4,954	5,103	5,256	5,414	5,576	5,743	5,915	<p style="text-align: center;"><u>度以降の削減目標については基準値に対して毎年1%削減していった数値としています。</u></p> <p style="text-align: right;">(単位：t)</p> <table border="1" data-bbox="1057 308 2009 435"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>令和6年度</th> <th>令和12年度</th> <th>令和13年度</th> <th>令和14年度</th> <th>令和15年度</th> <th>令和16年度</th> <th>令和17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16,677</td> <td>9,318</td> <td>8,339</td> <td>8,172</td> <td>8,005</td> <td>7,838</td> <td>7,651</td> <td>7,505</td> </tr> <tr> <td>基準値に対して</td> <td>45%削減</td> <td>50%削減</td> <td>51%削減</td> <td>52%削減</td> <td>53%削減</td> <td>54%削減</td> <td>55%削減</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 エコネット登録団体の自然保護活動参加人数</p> <p>【数値目標】</p> <p>令和17年度 <u>5,374人</u> ← 令和6年度実績 4,274人</p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2次計画において、計画期間における累計8,700人を目標値としていましたが、令和6年度にて累計実績が30,994人と目標値を大幅に達成したことから、<u>単年度での人数増加を主眼とすることとし、既存団体や自然保護活動未実施団体・新規登録団体による新たな自然保護活動の参加者を年100人増加させるとして目標値を算出しました。</u> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1057 986 2009 1043"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> <th>令和11年度</th> <th>令和12年度</th> <th>令和13年度</th> <th>令和14年度</th> <th>令和15年度</th> <th>令和16年度</th> <th>令和17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,274</td> <td>4,374</td> <td>4,474</td> <td>4,574</td> <td>4,674</td> <td>4,774</td> <td>4,874</td> <td>4,974</td> <td>5,074</td> <td>5,174</td> <td>5,274</td> <td>5,374</td> </tr> </tbody> </table> <p>8 農業体験授業（事業）の実施校数（保育所・幼稚園含む。）</p> <p>（略）</p> <p>9 環境学習リーダーの養成数</p> <p>（略）</p>	基準値	令和6年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	16,677	9,318	8,339	8,172	8,005	7,838	7,651	7,505	基準値に対して	45%削減	50%削減	51%削減	52%削減	53%削減	54%削減	55%削減	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	4,274	4,374	4,474	4,574	4,674	4,774	4,874	4,974	5,074	5,174	5,274	5,374	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>p.29</p>
令和6年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度																																																																																		
9,318	8,339	8,256	8,173	8,091	8,010	7,930																																																																																		
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度																																																																													
4,274	4,402	4,534	4,670	4,810	4,954	5,103	5,256	5,414	5,576	5,743	5,915																																																																													
基準値	令和6年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度																																																																																	
16,677	9,318	8,339	8,172	8,005	7,838	7,651	7,505																																																																																	
基準値に対して	45%削減	50%削減	51%削減	52%削減	53%削減	54%削減	55%削減																																																																																	
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度																																																																													
4,274	4,374	4,474	4,574	4,674	4,774	4,874	4,974	5,074	5,174	5,274	5,374																																																																													

旧	新	備考
<p>10 環境関連イベント・講習会等の参加人数</p> <p>【数値目標】</p> <p>年間の参加人数累計 <u>250人</u> ← 令和6年度実績 210人（対象イベント・講習会等の参加人数）</p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次計画における数値目標は、環境市民大会を年1回開催するとし、各種催しと組み合わせる等工夫して参加者の拡大を図り、1回当たり100人以上の参加者数を目指すこととしたものです。 ・第3次計画における数値目標について、年1回の環境市民大会の開催は継続するとともに、市民が日頃から環境に関わることができるよう環境関連イベント・講座等を定期的に<u>開催いたします</u>。環境市民大会を含む環境関連イベント・講座等の年間の参加人数累計 <u>250人</u>を目指します。 <p>※対象範囲は、市が主催・共催するイベント・講習会等（環境市民大会・環境学習・ごみ分別講座等）の参加者に限ります。</p> <p>資料2</p> <p>○環境都市宣言 (略)</p> <p>資料3</p> <p>○滝川市環境基本条例 (略)</p> <p>資料4</p> <p>○滝川市環境市民委員会規則 (略)</p>	<p>10 環境関連イベント・講習会等の参加人数</p> <p>【数値目標】</p> <p>年間の参加人数累計 <u>300人</u> ← 令和6年度実績 210人（対象イベント・講習会等の参加人数）</p> <p>◇目標設定の考え方◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次計画における数値目標は、環境市民大会を年1回開催するとし、各種催しと組み合わせる等工夫して参加者の拡大を図り、1回当たり100人以上の参加者数を目指すこととしたものです。 ・第3次計画における数値目標について、年1回の環境市民大会の開催は継続するとともに、市民が日頃から環境に関わることができるよう環境関連イベント・講座等を定期的に<u>開催します</u>。環境市民大会を含む環境関連イベント・講座等の年間の参加人数累計 <u>300人</u>を目指します。 <p>※対象範囲は、市が主催・共催するイベント・講習会等（環境市民大会・環境学習・ごみ分別講座等）の参加者に限ります。</p> <p>資料2</p> <p>○環境都市宣言 (略)</p> <p>資料3</p> <p>○滝川市環境基本条例 (略)</p> <p>資料4</p> <p>○滝川市環境市民委員会規則 (略)</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>p.30</p> <p>p.34</p>

旧	新	備考
<p>資料5 ○滝川市環境市民委員会委員名簿 役職：委員 氏名：山西__秀美 所属等：北海道電力ネットワークセンター株式会社株式会社滝川ネットワークセンター</p> <p>資料6 開催日：令和8年3月__日 回：第7回 内容：第3次滝川市環境基本計画報告</p> <p>資料7 ○滝川市民を対象とした環境に関するアンケート調査 ・町別回答数 回答<u>無し</u> 13人</p> <p>1 住まいの周辺の環境の満足度</p> <p>分 析</p> <p>・<u>概ね</u>住まいの周辺の環境には満足している人が多い中、不満に思っている割合が多い項目が「⑩まち並みの美しさ」、「⑪ごみのポイ捨ての少なさ」である。ポイ捨てされたごみによってまち並みが汚れていると不満を抱えている市民が一定数いることがわかる。</p> <p>(略)</p>	<p>資料5 ○滝川市環境市民委員会委員名簿 役職：委員 氏名：山西__秀美 所属等：北海道電力ネットワークセンター株式会社 <u>(削除)</u> 滝川ネットワークセンター</p> <p>資料6 開催日：令和8年3月 <u>24</u>日 回：第7回 内容：第3次滝川市環境基本計画報告</p> <p>資料7 ○滝川市民を対象とした環境に関するアンケート調査 ・町別回答数 回答<u>なし</u> 13人</p> <p>1 住まいの周辺の環境の満足度</p> <p>分 析</p> <p>・<u>おおむね</u>住まいの周辺の環境には満足している人が多い中、不満に思っている割合が多い項目が「⑩まち並みの美しさ」、「⑪ごみのポイ捨ての少なさ」である。ポイ捨てされたごみによってまち並みが汚れていると不満を抱えている市民が一定数いることがわかる。</p> <p>(略)</p>	<p>p.35 (変更) (削除)</p> <p>p.36 (追加)</p> <p>p.37</p> <p>(変更)</p> <p>p.38 (変更)</p>

旧	新	備考
<p>7 「デコ活」について</p> <p>分 析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度としては高くはないが、デコ活の内容としては取り組んでいる人が多い。 ・デコ活については、「①今すぐに対応すべき」と考えている人と「②ゆっくりと対応すればよい」と考えている人が概ね半々ではあるが、「④わからない」と回答している人が多い印象を受ける。 ・「デコ活」については、取組内容を広く認知してもらえるような活動が必要であると考えられる。 <p>(略)</p> <p>資料8 ○滝川市内事業者を対象とした環境に関するアンケート調査</p> <p>(略)</p>	<p>7 「デコ活」について</p> <p>分 析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度としては高くはないが、デコ活の内容としては取り組んでいる人が多い。 ・デコ活については、「①今すぐに対応すべき」と考えている人と「②ゆっくりと対応すればよい」と考えている人がおおむね半々ではあるが、「④わからない」と回答している人が多い印象を受ける。 ・「デコ活」については、取組内容を広く認知してもらえるような活動が必要であると考えられる。 <p>(略)</p> <p>資料8 ○滝川市内事業者を対象とした環境に関するアンケート調査</p> <p>(略)</p>	<p>p.52</p> <p>(変更)</p> <p>p.54</p> <p>p.58</p>
<p>4 環境保全に向けた企業の考え方</p> <p>分 析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「①重視」、「②やや重視」の合計割合が7割を越えていることから、概ね環境問題に前向きに取り組んでいると考えられるが、平成27年度のアンケートと比較すると回答数の割合が下がったことがわかる。 <p>(略)</p>	<p>4 環境保全に向けた企業の考え方</p> <p>分 析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「①重視」、「②やや重視」の合計割合が7割を超えていることから、おおむね環境問題に前向きに取り組んでいると考えられるが、平成27年度のアンケートと比較すると回答数の割合が下がったことがわかる。 <p>(略)</p>	<p>(変更)</p>